

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	港湾施設の維持管理技術情報提供業務
業 務 概 要	本業務は、東北地方整備局職員及び東北管内の港湾管理者等に対し、港湾施設の維持管理に関する基礎的な知識、維持管理計画の策定方法や施設の点検・診断計画、点検・診断手法及び維持管理補修工法等について、必要な技術情報の提供を行う。また、その効果の確認を行うとともに今後の課題等についてとりまとめを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 東北地方整備局副局長 川上 泰司 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1
契 約 年 月 日	令和元年7月30日
契 約 業 者 名	一般財団法人 沿岸技術研究センター
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1丁目14番2号
契 約 金 額	13,090,000 円(税込)
予 定 価 格	13,704,962 円(税込)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	令和元年7月30日
履 行 期 間 (至)	令和元年12月20日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

随意契約理由書

1. 業務の名称 港湾施設の維持管理技術情報提供業務

2. 契約業者名 一般財団法人 沿岸技術研究センター

3. 随意契約理由

本業務は、東北地方整備局職員及び東北管内の港湾管理者等に対し、港湾施設の維持管理に関する基礎的な知識、維持管理計画の策定方法や施設の点検・診断計画、点検・診断手法及び維持管理補修工法等について、必要な技術情報の提供を行う。また、その効果の確認を行うとともに今後の課題等についてとりまとめを行うものである。

本業務の契約手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定管理技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。

審査の結果、一般財団法人沿岸技術研究センターを契約の相手方として特定した。

よって、会計法第29条の3第4項に基づき、一般財団法人沿岸技術研究センターと随意契約を行うものである。